

# 平成30年度 ウィークエンド青少年セミナー 実施報告①

実施日：平成30年10月20日（土）

本セミナーは、次代を担う青少年が、身近な地域活動やボランティア活動に積極的に参加できるよう、演習を中心とした主体的な学びを通し、活動の企画や運営などの実践力を養うことをねらいとして、栃木県総合教育センターと宇都宮大学が共催で10～12月に全5回の内容で実施しています。今年度は、大学生13名、専門学校生1名、高校生12名の計26名の申込みをいただきました。



セミナー実施に先立って行われた開講式では、栃木県総合教育センターからは高野嘉子生涯学習部長が、宇都宮大学からは地域デザイン科学部の若園雄志郎准教授が参加し、それぞれ受講生に向けて挨拶しました。



## 講話「若者には地域を変える力がある！」

一般社団法人とちぎ市民協働研究会 事務局長 土崎 雄祐 氏

土崎先生には、「世代の特徴を生かす」という切り口で、まちづくりやボランティア活動について考える内容をお話いただきました。受講生にとって、自分たちの強みを考える視点として「世代」を捉えることは目新しいものだったようで、熱心に話に耳を傾けメモをとったり、グループワークに参加したりしていました。今後、自分たちの活動をマネジメントする際に、「自分のこと」「相手のこと」を客観的に捉え、ぜひ今後の活動に活かしてほしいと思います！



### \* 受講生の声 \*

- 自分たちの強みとしての世代の特徴を知ることが必要だということを学んだ。
- 自分たちの世代について、「今の若者は〇〇できない」とネガティブなことをよく耳にしていたので、強みについて考えることができたのは新たな視点だった。

## 体験講座「手軽に楽しめる遊び」

- 工作活動
- 折り紙創作活動

栃木県子ども総合科学館 展示課長 室岡 久男 氏  
センターボランティアの会 齋藤 敦子 氏  
村田 文子 氏

工作活動では、「簡単にできる工作遊び」を体験しました。材料は、ほとんどが100円ショップで売られているもので、手軽に入手できるものばかり。それでいて、音が鳴ったり、動いたりする優れ物が完成していきます。受講生は、工作活動自体の魅力を感じただけでなく、講師の指示の仕方や受講生への気配りなどにも気づきを得られたようです。



折り紙創作活動は、栃木県総合教育センターのセンターボランティアの会に講師をお願いし、子どもたちが喜ぶ折り紙の数々を御紹介いただき、その折り方を教えてもらいました。久しぶりに折り紙に触る受講生もいて、懐かしさと完成したときの喜びに、笑顔あふれる時間となりました。特に「人の口」など、動きのある折り紙創作は子どもたちに大人気になること間違いなし！という代物でした。

### \*受講生の声\*

- 身近なものでかつ製作過程でゴミが出ず、楽しめるものがたくさん作れた。
- 作業の際に、1人ひとりの進行状況に目を配ることが必要であることが分かった。また、そのためには、サポート役も一定数必要になってくることも理解できた。
- 講師の方は、教えながら全部やってしまうのではなく、途中まで進めたり、受講者に考えてもらったりしながら進めていた。受講者の立場に立った運営ができるよう、スキルを身につけていきたい。

研修内容の詳細に関するお問い合わせは、栃木県総合教育センター生涯学習部まで！  
TEL:028-665-7206 E-mail: shogai-c@tochigi-edu.ed.jp